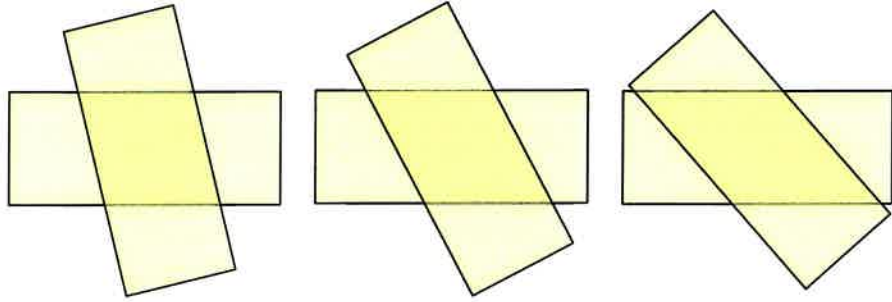


- 1 形も大きさも同じ長方形の紙を2まい重ねると、どんな四角形ができるか調べて () にあてはまることばを [] からえらんで書きましょう。(8点×4)
(コンパスや分度器を使って調べましょう。)



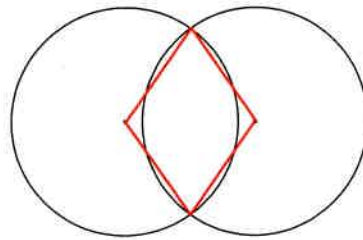
- (1) 辺の長さがみんな等しい四角形を(**ひし形**)といいます。
 (2) できた四角形の4つの辺の長さは、みんな(**等しく**)なっています。
 (3) 向かいあった角の大きさは、(**等しく**)なっています。
 (4) 向かいあった辺は(**平行**)です。

平行 ・ 等しく ・ 等しく ・ 平行四角形 ・ ひし形

辺の長さがみんな等しい四角形を **ひし形** といいます。

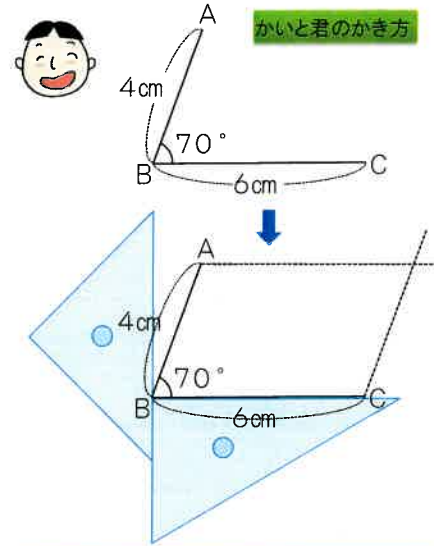
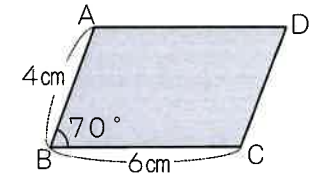


- 2 半径が等しい円を2つかけ、交わった点と中心を直線でつなぐと、ひし形ができます。そのわけを説明しましょう。(18点)

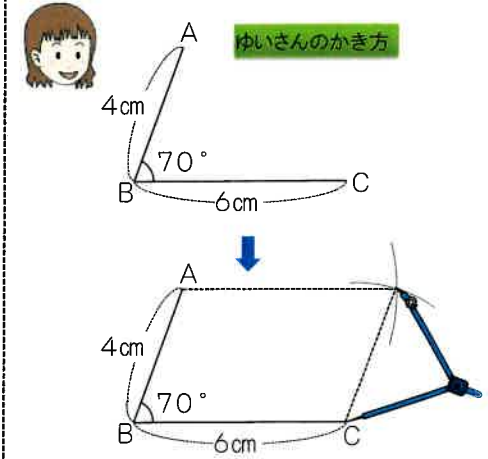


辺の長さが みんな等しく なるからです。
(円の半径に)

- 3 右のような平行四角形のかき方をかいと君とゆいさんが説明しています。図を見て () にあてはまる数やことばを書きましょう。(15点×2)

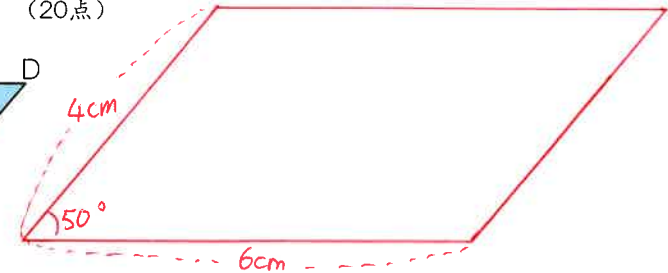
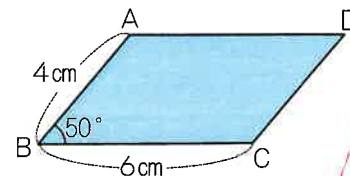


まず6cmの辺をかいてから、間の角が(**70°**)になるように(**4** cm)の辺をかきます。次に向かい合った辺が(**平行**)だから、三角じょうぎを使って向かいあった辺を(**平行**)にかきます。

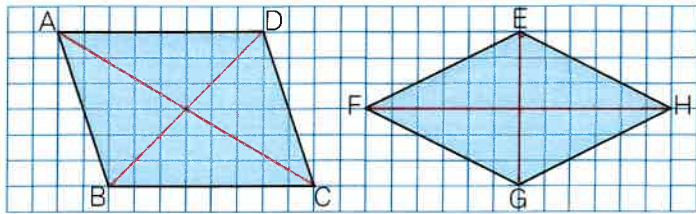


まず6cmの辺をかいてから、間の角が(**70°**)になるように(**4** cm)の辺をかきます。次に向かい合った辺の長さが(**等しい**)から、コンパスで向かい合った辺を(**等しく**)かきます。

- 4 下のような平行四角形をかきましょう。(20点)



1 下の平行四角形、ひし形の向かいあつた頂点を直線で結び、結んだ図を見て () にあてはまることばを [] からえらんで書きましょう。(5点×3)



四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を「対角線」といいます。



- (1) 四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を(**対角線**)といひます。
- (2) 平行四角形の2つの対角線は、それぞれの(**まん中の点**)で交わります。
- (3) ひし形の2つの対角線は(**垂直**)で、それぞれのまん中の点で交わります。

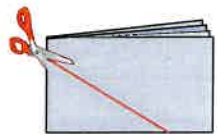
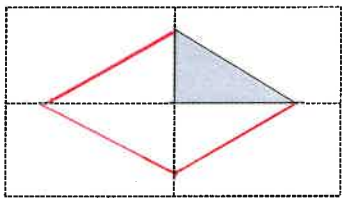
まん中の点 ・ 対角線 ・ 垂直

2 長方形や正方形の対角線について考えます。() にあてはまることばを [] からえらんで書きましょう。(同じことばを2度使ってもよい) (5点×5)

- (1) 長方形の対角線の長さは(**等しく**), それぞれの(**まん中の点**)で交わります。
- (2) 正方形の対角線の長さは(**等しく**), それぞれの(**まん中の点**)で交わります。また、正方形の対角線は(**垂直**)に交わります。

まん中の点 ・ 等しく ・ 垂直

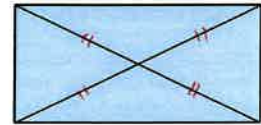
3 紙を下の図のように折り、—のところで切り取って広げると、どんな形ができますか。広げたときの形を図にかいて答えましょう。(10点)



答え(**ひし形**)

4 長方形の紙を2つの対角線で4つに切ります。あとの問題に答えましょう。

(1) ㉞ どんな三角形ができますか。(5点×2)



[**二等辺三角形**]

㉞ ㉞の三角形になるわけをかきましよう。

[**2つの辺の長さが等しくなっているから。(長方形の対角線の長さは等しく、それぞれのまん中の点で交わるから。)**]

(2) 切り取った三角形を2まいずつならべて、ひし形を2つつくります。どのようにならべればよいでしょうか。かんたんに、ならべた時の図をかきましよう。(10点) [図]

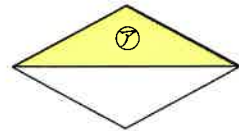


5 ひし形を対角線で切ったときにできる三角形について調べます。

(1) ㉞ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましよう。(5点×2)

[**二等辺三角形**]

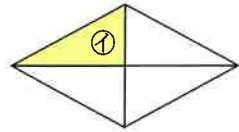
[**2つの辺の長さが等しくなっているから。**]



(2) ㉞ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましよう。(5点×2)

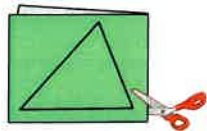
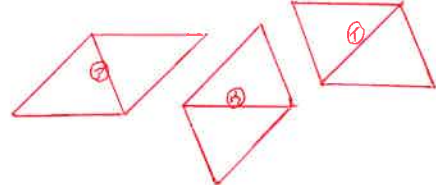
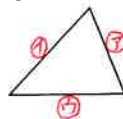
[**直角三角形**]

[**直角がある三角形だから。(ひし形の対角線は垂直に交わるから。)**]



6 右下のようにして切り取った形も大きさも同じ2まいの三角形を組みあわせて、平行四角形をつくりましよう。何種類の平行四角形ができますか。ならべた時の図をかいて、答えましよう。(図はだいたいでよい) (10点)

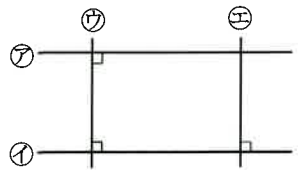
[図]



[**3 種類**]

1 ()にあてはまることばを書きましょう。(5点×3)

- (1) 直線㉞と直線㉠は(**垂直**)です。
 (2) 直線㉞と直線㉡は(**平行**)です。
 (3) 直線㉟と直線㉠は(**垂直**)です。



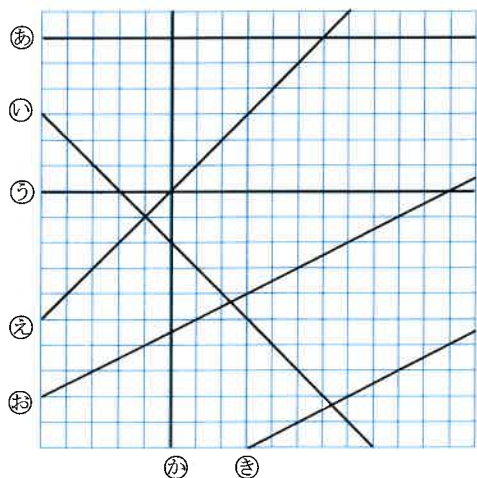
2 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(5点×5)

(1) 垂直な直線はどれですか。

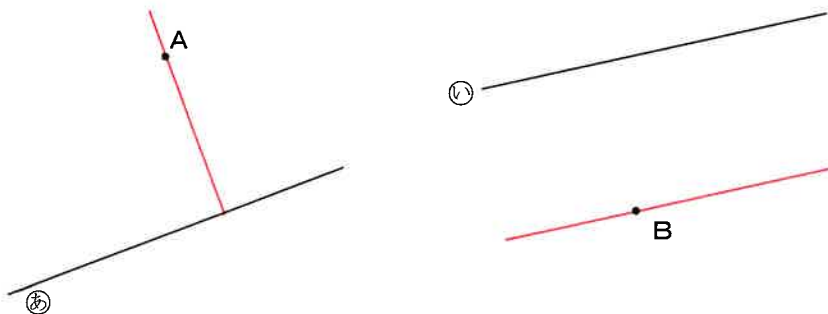
- (**あ** と **か**)
 (**い** と **え**)
 (**う** と **か**)

(2) 平行な直線はどれですか。

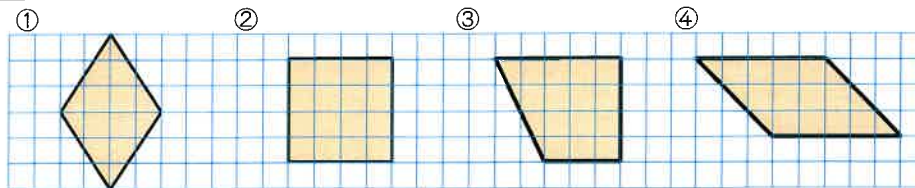
- (**あ** と **う**)
 (**お** と **き**)



3 1組の三角じょうぎを使って、点Aを通して直線㉞に垂直な直線と、点Bを通して直線㉟に平行な直線をかきましょう。(5点×2)



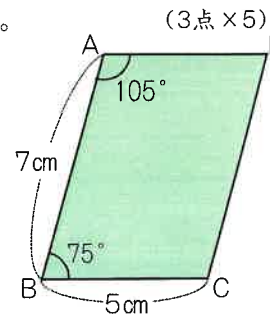
4 次の四角形の名前を書きましょう。(4点×4)



[**ひし形**] [**正方形**] [**台形**] [**平行四辺形**]

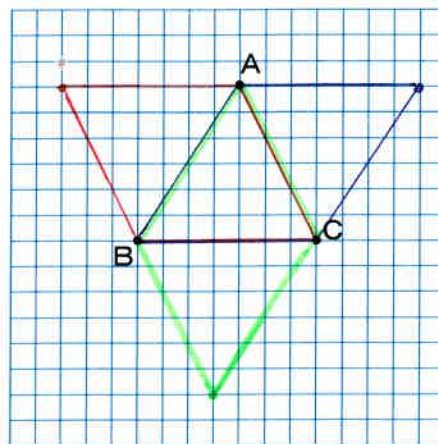
5 右下の平行四辺形について、次の問題に答えましょう。(3点×5)

- ① 辺ADの長さは何cmですか。(**5** cm)
 ② 辺CDの長さは何cmですか。(**7** cm)
 ③ 角Cの大きさは何度ですか。(**105** °)
 ④ 角Dの大きさは何度ですか。(**75** °)
 ⑤ 点Aと点Cを結んだ直線を何といいますか。(**対角線**)

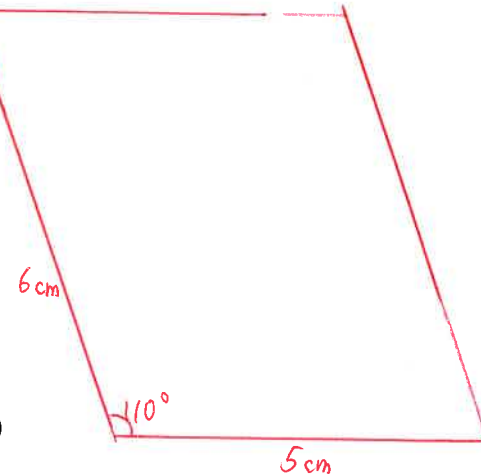
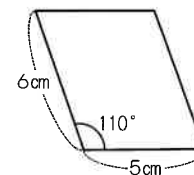


6 3つの点A, B, Cを頂点とする平行四辺形を書きます。何種類の平行四辺形がかけますか。(10点)

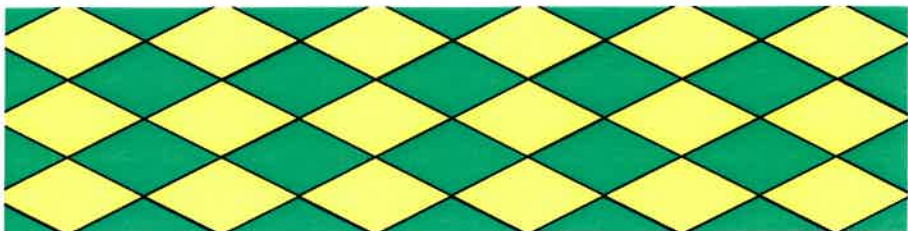
(**3** 種類)



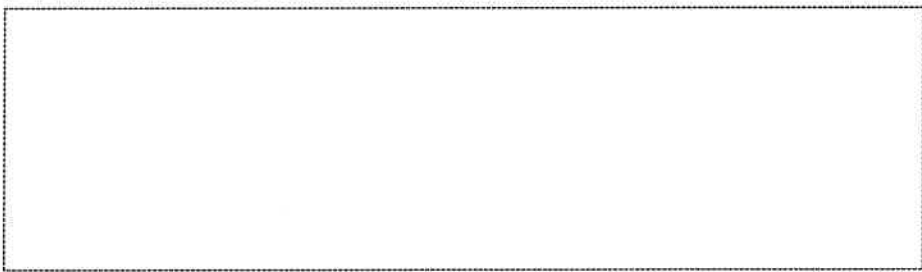
7 下のような平行四辺形をかきましょう。(9点)



1 形も大きさも同じひし形をならべて、すきまなくしきつめました。



(1) しきつめもようから、平行四辺形やひし形を見つけましょう。(20点)



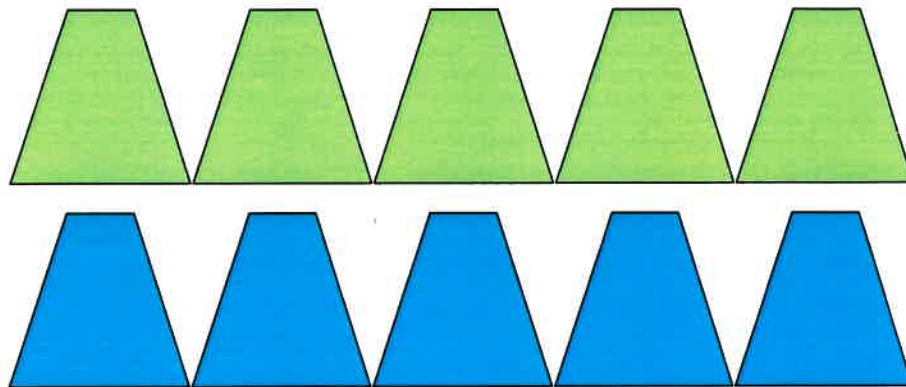
(2) 下の形が、平行四辺形やひし形といえるわけを説明しましょう。(10点×3)

㉞ 三角じょうぎを使って調べると、向かい合う辺がどちらも **平行** になっているので平行四辺形です。

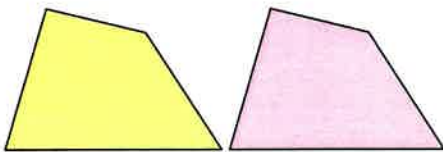
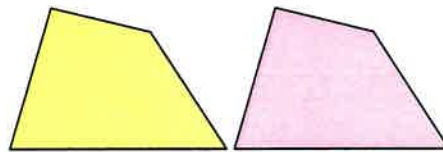
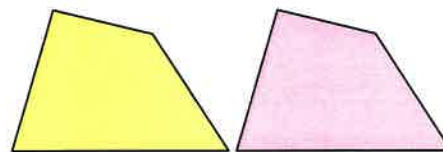
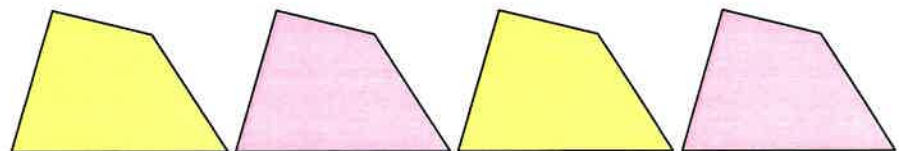
㉟ 向かい合う辺の長さが **等しく** なっているので平行四辺形です。

㊱ 向かい合う辺がどちらも **平行** でまた、向かい合う角の大きさは **等しく** なっているのでひし形です。

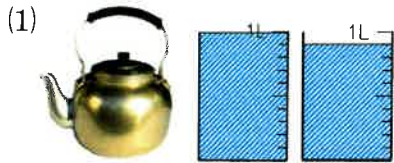
2 台形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)



3 下のような四角形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)

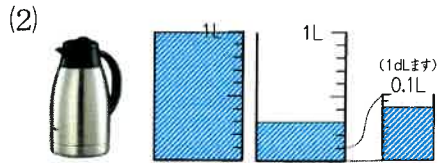


1 やかんとポットに入る水のかさを調べました。それぞれのかさを「L」を単位にして表します。□にあてはまる数をかきましよう。(8点×2)



やかんの水のかさ

1 L が1つ分で □ L
0.1 L が9つ分で □ L
あわせて □ L

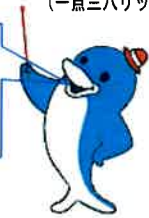


ポットの水のかさ

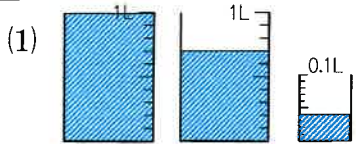
1 L が1つ分で □ L
0.1 L が3つ分で □ L
0.01 L が8つ分で □ L
あわせて □ L

(一点三八リットル)

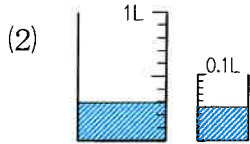
1Lの $\frac{1}{10}$ は0.1L, 0.1Lの $\frac{1}{10}$ は0.01L(れいれいーリットル)です。
0.01Lは1Lの $\frac{1}{100}$ です。



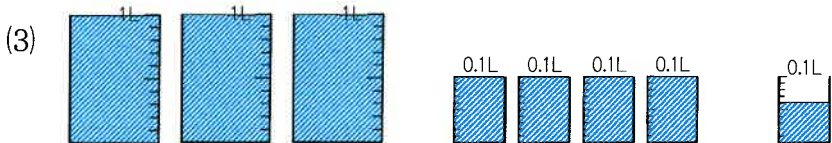
2 次の水のかさは、何Lですか。(8点×3)



[1.74 L]



[0.35 L]



[3.46 L]

3 明石海峡大橋は3911mあります。これを、kmを単位にして表すことを考えます。□にあてはまる数をかきましよう。(10点)

1 kmの $\frac{1}{10}$ (100m)は 0.1km
0.1 kmの $\frac{1}{10}$ (10m)は 0.01km
0.01 kmの $\frac{1}{10}$ (1m)は 0.001kmです。
(れいれいれいーキロメートル)



★3911mは

1 km が3つ分で □ km
0.1 km が9つ分で □ km
0.01 km が1つ分で □ km
0.001 km が1つ分で □ km
あわせて □ km

(三点九一一)

明石海峡大橋(兵庫県)



4 自転車で琵琶湖を1周しました。走った道のりは186.475kmでした。186.475kmを、mを単位として表すと何mになりますか。(10点)

[184675 m]



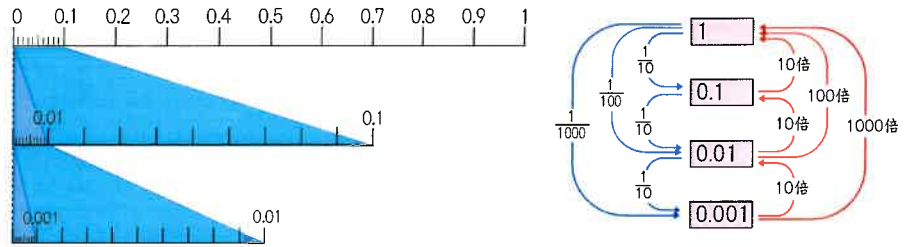
5 □にはあてはまる数をかきましよう。(5点×4)

- ① 2693m = □ km
- ② 7052m = □ km
- ③ 4.957km = □ m
- ④ 63.004km = □ m

6 □にはあてはまる数をかきましよう。(5点×4)

- ① 5281g = □ kg
- ② 746g = □ kg
- ③ 9.004kg = □ g
- ④ 25.068kg = □ g

1 1と0.1, 0.01, 0.001の関係を調べます。(5点×6)



- (1) 0.1, 0.01, 0.001は1の何分の1ですか。分数で答えましょう。
 ① 0.1 [$\frac{1}{10}$] ② 0.01 [$\frac{1}{100}$] ③ 0.001 [$\frac{1}{1000}$]
- (2) 1は, 0.1, 0.01, 0.001の何倍ですか。
 ① 0.1の[10]倍 ② 0.01の[100]倍 ③ 0.001の[1000]倍

2 36.278は, 10, 1, 0.1, 0.01, 0.001をそれぞれ何こあわせた数ですか。
 □にあてはまる数をかきましょう。(10点)

★36.278は
 10 を こ
 1 を こ
 0.1 を こ
 0.01 を こ
 0.001 を こ
 あわせた数です。

		小数第1位	小数第2位	小数第3位
十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
3	6	2	7	8

小数点から右の位は, 順に $\frac{1}{10}$ の位, $\frac{1}{100}$ の位, $\frac{1}{1000}$ の位, また, それぞれ
しょうすうだいいちい
 小数第1位, 小数第2位, 小数第3位といひます。

3 ()にあてはまる数をかきましょう。(5点×3)

- (1) 10は, 0.1の(100)倍です。
 (2) 10は, 0.01の(1000)倍です。
 (3) 10は, 0.001の(10000)倍です。

十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
1	0	0	0	0
	0	1		
	0	0	1	
	0	0	0	1

4 次の問題に答えましょう。(5点×3)

- (1) 1は, 0.01の何倍ですか。 [100 倍]
 (2) 0.1を5こと 0.01を2こあわせた数はいくつですか。 [0.52]
 (3) 0.01を4こと 0.001を7こあわせた数はいくつですか。 [0.047]

5 □にあてはまる数をかきましょう。(5点×6)

- (1) 3.749は, 1を こ, 0.1を こ, 0.01を こ, 0.001を こ あわせた数です。
 (2) 6.104は, 1を こ, 0.1を こ, 0.001を こ あわせた数です。
 (3) 5.076は, 0.001を こ 集めた数です。
 (4) 9.003は, 0.001を こ 集めた数です。
 (5) 0.001を 402こ 集めた数は です。
 (6) 0.001を 4706こ 集めた数は です。

ややこしいと思ったら,
 位取りの表を見て考え
 ましょう。



1 次の㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕にあたる数は何ですか。 (4点×5)

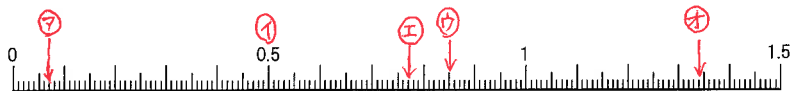


㉑〔 0.1 〕 ㉒〔 0.28 〕 ㉓〔 0.83 〕

㉔〔 1.09 〕 ㉕〔 1.33 〕

2 次の数を下の数直線に表しましょう。 (4点×5)

㉑ 0.07 ㉒ 0.5 ㉓ 0.85 ㉔ 0.77 ㉕ 1.34



3 下の(れい)をもとにして、7.4, 0.74 をそれぞれ10倍しましょう。 (5点×2)

(れい)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
		7	4	.		
		7	4	0	.	
		7	4	0	0	.

10倍
10倍

小数も整数と同じように、各位の数字を、10倍すると位が1つ上がります。



(1)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			7	4	.	
		7	4	.		

10倍

(2)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			0	7	4	.
		7	4	.		

10倍

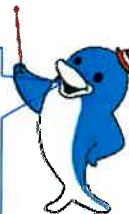
4 下の(れい)をもとにして、3.9, 0.39 をそれぞれ10でわりましょう。 (5点×2)

(れい)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
3	9	0	0	.		
	3	9	0	.		
		3	9	.		

÷10
÷10
÷10

小数も整数と同じように、各位の数字を、10でわると位が1つ下がります。



(1)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			3	9	.	
		0	3	9	.	

÷10

(2)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			0	3	9	.
		0	0	3	9	.

÷10

5 次の数を10倍しましょう。 (2点×10)

- ① $0.7 \times 10 = 7$
- ② $0.02 \times 10 = 0.2$
- ③ $0.18 \times 10 = 1.8$
- ④ $0.93 \times 10 = 9.3$
- ⑤ $4.2 \times 10 = 42$
- ⑥ $6.54 \times 10 = 65.4$
- ⑦ $2.04 \times 10 = 20.4$
- ⑧ $8.07 \times 10 = 80.7$
- ⑨ $0.305 \times 10 = 3.05$
- ⑩ $7.008 \times 10 = 70.08$

6 次の数を10でわりましょう。 (2点×10)

- ① $4 \div 10 = 0.4$
- ② $0.7 \div 10 = 0.07$
- ③ $0.02 \div 10 = 0.002$
- ④ $0.41 \div 10 = 0.041$
- ⑤ $6.9 \div 10 = 0.69$
- ⑥ $7.85 \div 10 = 0.785$
- ⑦ $1.03 \div 10 = 0.103$
- ⑧ $5.04 \div 10 = 0.504$
- ⑨ $0.946 \div 10 = 0.0946$
- ⑩ $7.001 \div 10 = 0.7001$

1 学校から二条城へ行って、映画村に行きます。
 学校から二条城までは3.25kmで、二条城から映画村までは4.32kmです。全体の道のりは何kmになりますか。
 (8×4点)



(1) 式を書きましょう。

式 $3.25 + 4.32$

(2) 計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。



① 0.01がいくつかを考えると、3.25は0.01が 325 こ、
 4.32は0.01が 432 こだから、あわせて0.01が 757 こになります。だから、答えは 7.57 kmです。



② 位ごとに分けて考えると、1があわせて 7 こ、0.1があわせて 5 こ、0.01があわせて 7 こになります。だから、答えは 7.57 kmです。

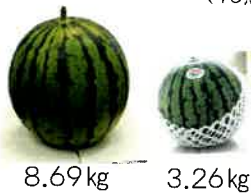
③ 筆算ですると、位(小数点)がたてにならぶようにかいて
 整数の時と同じように計算して、答えは 7.57 kmになります。

	3	2	5
+	4	3	2
	7	5	7

2 大きいすいかの重さは8.69kgです。小さいすいかの重さは3.26kgです。
 重さのちがいは何kgですか。
 (16点)

(式) $8.69 - 3.26 = 5.43$ (kg)

	8	6	9
-	3	2	6
	5	4	3



答え(5.43 kg)

筆算をかくときに、小数点の位置をそろえることをわすれないでね。

3 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

① <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>5</td><td>8</td><td>3</td></tr><tr><td>+</td><td>7</td><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">1</td><td style="border-top: 1px solid black;">3</td><td style="border-top: 1px solid black;">2</td></tr></table>		5	8	3	+	7	4	2		1	3	2	② <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>4</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>+</td><td>9</td><td>7</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">1</td><td style="border-top: 1px solid black;">3</td><td style="border-top: 1px solid black;">7</td></tr></table>		4	0	0	+	9	7	4		1	3	7	③ <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>6</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>+</td><td>7</td><td>3</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">1</td><td style="border-top: 1px solid black;">3</td><td style="border-top: 1px solid black;">8</td></tr></table>		6	4	8	+	7	3	0		1	3	8	④ <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr><tr><td>+</td><td>4</td><td>9</td><td>7</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">8</td><td style="border-top: 1px solid black;">9</td><td style="border-top: 1px solid black;">0</td></tr></table>		3	0	3	+	4	9	7		8	9	0
	5	8	3																																																
+	7	4	2																																																
	1	3	2																																																
	4	0	0																																																
+	9	7	4																																																
	1	3	7																																																
	6	4	8																																																
+	7	3	0																																																
	1	3	8																																																
	3	0	3																																																
+	4	9	7																																																
	8	9	0																																																

⑤ $6.25 + 2.53$

6.25
+ 2.53
8.78

⑥ $8.04 + 2.04$

8.04
+ 2.04
10.08

⑦ $0.98 + 5.07$

0.98
+ 5.07
6.05

⑧ $7 + 4.91$

7.00
+ 4.91
11.91

⑨ $6.88 + 6$

6.88
+ 6.00
12.88

⑩ $4.7 + 9.93$

4.70
+ 9.93
14.63

⑪ $2.18 + 5.82$

2.18
+ 5.82
8.00

⑫ $7.34 + 2.66$

7.34
+ 2.66
10.00

⑬ $8.45 + 2.35$

8.45
+ 2.35
10.80

4 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

① <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>7</td><td>9</td><td>3</td></tr><tr><td>-</td><td>1</td><td>4</td><td>6</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">6</td><td style="border-top: 1px solid black;">4</td><td style="border-top: 1px solid black;">7</td></tr></table>		7	9	3	-	1	4	6		6	4	7	② <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>8</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>-</td><td>7</td><td>3</td><td>9</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">0</td><td style="border-top: 1px solid black;">7</td><td style="border-top: 1px solid black;">6</td></tr></table>		8	1	5	-	7	3	9		0	7	6	③ <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>9</td><td>0</td><td>4</td></tr><tr><td>-</td><td>4</td><td>7</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">4</td><td style="border-top: 1px solid black;">3</td><td style="border-top: 1px solid black;">4</td></tr></table>		9	0	4	-	4	7	0		4	3	4	④ <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><td></td><td>6</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>-</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td style="border-top: 1px solid black;">3</td><td style="border-top: 1px solid black;">4</td><td style="border-top: 1px solid black;">7</td></tr></table>		6	0	0	-	2	5	3		3	4	7
	7	9	3																																																
-	1	4	6																																																
	6	4	7																																																
	8	1	5																																																
-	7	3	9																																																
	0	7	6																																																
	9	0	4																																																
-	4	7	0																																																
	4	3	4																																																
	6	0	0																																																
-	2	5	3																																																
	3	4	7																																																

⑤ $8.42 - 2.66$

8.42
- 2.66
5.76

⑥ $8.38 - 6.39$

8.38
- 6.39
1.99

⑦ $5.02 - 0.73$

5.02
- 0.73
4.29

⑧ $7.24 - 6.35$

7.24
- 6.35
0.89

⑨ $9.03 - 5.84$

9.03
- 5.84
3.19

⑩ $8.51 - 1.50$

8.51
- 1.50
7.01

⑪ $4.72 - 2.40$

4.72
- 2.40
2.32

⑫ $6 - 0.43$

6.00
- 0.43
5.57

⑬ $9 - 5.27$

9.00
- 5.27
3.73

1 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

- ① 72dL = L ② 409cm = m
 ③ 3584m = km ④ 522g = kg

2 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

- ① 3.73m = cm ② 1.234kg = g
 ③ 0.708km = m ④ 5.003kg = g

3 7.845はどんな数ですか。にあてはまる数をかきましょう。(4点×3)

(1) 1をに, 0.1をに, 0.01をに, 0.001をにあわせた数です。

(2) 7とをあわせた数です。

(3) 0.001をに集めた数です。

がんばれ!



4 次の数をかきましょう。(4点×4)

- (1) 0.1を6こと 0.01を7こ あわせた数 []
 (2) 0.01を4こと 0.001を3こ あわせた数 []
 (3) 0.01を534こ 集めた数 []
 (4) 0.001を608こ 集めた数 []

5 次の㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺にあたる数は何ですか。(2点×5)



- ㊶ [] ㊷ [] ㊸ []
 ㊹ [] ㊺ []

6 次の数を10倍しましょう。(2点×4)

- ① $8.14 \times 10 = 81.4$ ② $3.07 \times 10 = 30.7$
 ③ $7.241 \times 10 = 72.41$ ④ $0.056 \times 10 = 0.56$

7 次の数を10でわりましょう。(2点×4)

- ① $1.4 \div 10 = 0.14$ ② $0.6 \div 10 = 0.06$
 ③ $6.87 \div 10 = 0.687$ ④ $0.03 \div 10 = 0.003$

8 次の計算を筆算でしましょう。(2点×11)

① $5.07 + 3.48 = 8.55$ ② $6.39 + 1.70 = 8.09$ ③ $5.74 + 2.16 = 7.90$

④ $9 + 4.87 = 13.87$ ⑤ $3.27 + 6.73 = 10.00$

⑥ $8.65 - 7.78 = 0.87$ ⑦ $7.06 - 3.64 = 3.42$ ⑧ $8.02 - 4.52 = 3.50$

⑨ $6 - 5.2 = 0.8$ ⑩ $4.3 - 3.67 = 0.63$ ⑪ $7 - 0.04 = 6.96$

おちついて!



33 基本 2けたでわるわり算の筆算 商が1けたになる筆算-1 学習日 /

1 69 ÷ 23の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。(10点)

- (1) 69を□60, 23を□20とみて, 60 ÷ 20から商の見当をつけます。
 (2) 商を□3と見当をつけて, 23を□3倍すると69になります。
 (3) 69 ÷ 23 = □3になります。

2 90 ÷ 30と 96 ÷ 32の筆算のしかたを考えましょう。(8点 × 2)

- (1)

			3
3	0	9	0
		9	0
			0

 ① 十の位アに商はたちません。
 ② 9 ÷ 3で, 一の位のイに□3をたてて
 ③ 30に3をかけてウに□90をかきます。
 ④ 90から90をひいてエに□0をかきます。

- (2)

			3
3	2	9	6
		9	6
			0

 ① 十の位アに商はたちません。
 ② 9 ÷ 3で, 一の位のイに□3をたてて
 ③ 32に3をかけてウに□96をかきます。
 ④ 96から96をひいてエに□0をかきます。

3 次の計算を筆算でしましょう。(3点 × 8)

- ①

			4
2	2	8	8
		8	8
			0

 ②

			3
1	3	3	9
		3	9
			0

 ③

			4
2	1	8	4
		8	4
			0

 ④

			2
4	3	8	6
		8	6
			0
- ⑤

			3
2	6	7	8
		7	8
			0

 ⑥

			2
3	7	7	4
		7	4
			0

 ⑦

			3
2	4	7	2
		7	2
			0

 ⑧

			2
2	5	5	0
		5	0
			0

4 230 ÷ 46と 237 ÷ 45の筆算のしかたを考えましょう。(8点 × 2)

- (1)

				5
4	6	2	3	0
		2	3	0
				0

 ① 百の位や十の位に商はたちません。
 ② 230 ÷ 40と考え, 23 ÷ 4で商の見当をつけます。
 一の位のアに□5をたてて
 ③ 46に5をかけてイに□230をかきます。
 ④ 230から230をひいてウに□0をかきます。
- (2)

				5
4	5	2	3	7
		2	2	5
			1	2

 ① 百の位や十の位に商はたちません。
 ② 230 ÷ 40と考え, 23 ÷ 4で商の見当をつけます。
 一の位のアに□5をたてて
 ③ 45に5をかけてイに□225をかきます。
 ④ 237から225をひいて, ウにあまりの□12をかきます。

5 次の計算を筆算でしましょう。(3点 × 8)

- ①

				7
2	1	1	4	7
		1	4	7
				0

 ②

				4
3	2	1	2	8
		1	2	8
				0

 ③

				5
4	3	2	1	5
		2	1	5
				0

 ④

				6
6	2	3	7	2
		3	7	2
				0
- ⑤

				5	…4
3	1	1	5	9	
		1	5	5	
				4	

 ⑥

				4	…4
5	4	2	2	0	
		2	1	6	
				4	

 ⑦

				5	…14
4	5	2	3	9	
		2	2	5	
			1	4	

 ⑧

				8	…20
7	3	6	0	4	
		5	8	4	
				2	0

6 色紙が270まいあります。42人に同じ数ずつ配ると, 1人何まいになって何まいあまりますか。(10点)

(式) $270 \div 42 = 6 \text{ まい } 18$
(まい) (まい) (まい)

42)	270
		252
		18

答え(1人 6まい, 18まいあまる)

1 48 ÷ 16 と 225 ÷ 34 と 199 ÷ 28 の筆算のしかたを考えましょう。(10点×3)

(1)

$$\begin{array}{r} 4 \\ 16 \overline{)48} \\ \underline{64} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 3 \\ 16 \overline{)48} \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

見当をつけた商が大きすぎたときは、1小さい商をたてて計算してみましょう。



- ① 4 ÷ 1 で、一の位に **4** をたてて
16に4をかけると **64** になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい **3** にして
16に3をかけると **48** になります。
- ③ 48から48をひいてあまりは **0** になります。

(2)

$$\begin{array}{r} 7 \\ 34 \overline{)225} \\ \underline{238} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 6 \\ 34 \overline{)225} \\ \underline{204} \\ 21 \end{array}$$

- ① 22 ÷ 3 で、一の位に **7** をたてて
34に7をかけると **238** になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい **6** にして
34に6をかけると **204** になります。
- ③ 225から204をひいてあまりは **21** になります。

(3)

$$\begin{array}{r} 9 \\ 28 \overline{)199} \\ \underline{252} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 8 \\ 28 \overline{)199} \\ \underline{224} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 7 \\ 28 \overline{)199} \\ \underline{196} \\ 3 \end{array}$$

見当をつけた商が大きすぎたときは、1ずつ小さくしていけばいいよ。



- ① 19 ÷ 2 で、一の位に **9** をたてて28に9をかけると **252** になり、大きすぎ。
- ② 一の位に **8** をたてて28に8をかけると **224** になり、まだ大きすぎ。
- ③ 一の位に **7** をたてて28に7をかけると **196** になり、あまりが **3** になります。

2 432 ÷ 48 の筆算のしかたを考えましょう。(10点)

(10点)

$$\begin{array}{r} 9 \\ 48 \overline{)432} \\ \underline{432} \\ 0 \end{array}$$

- ① 商は一の位にたつから、**1** けたです。
- ② 商の見当をつけると、43 ÷ 4 で10になります。このようなときは、まず、**9** をたてましょう。
- ③ 48に9をかけると **432** になり、あまりは **0** になります。

商の見当をつけると10になるときは、まず、9をたててみましょう。



3 次の計算を筆算でしましょう。

(5点×12)

①

			3
2	9	8	7
		8	7
			0

②

			4 ...5
1	5	6	5
		6	0
			5

③

			5 ...6
1	7	9	1
		8	5
			6

④

			7	
2	4	1	6	8
		1	6	8
				0

⑤

				5
4	8	2	4	0
		2	4	0
				0

⑥

				7 ...11
3	6	2	6	3
		2	5	2
				1 1

⑦

				6
2	9	1	7	4
		1	7	4
				0

⑧

				7 ...53
5	7	4	5	2
		3	9	9
				5 3

⑨

				7 ...19
3	8	2	8	5
		2	6	6
				1 9

⑩

				9
3	9	3	5	1
		3	5	1
				0

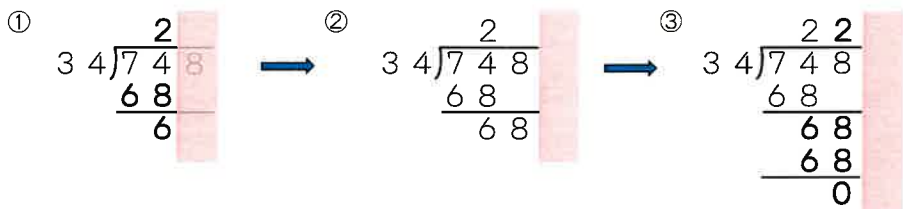
⑪

				8
2	7	2	1	6
		2	1	6
				0

⑫

				8 ...53
5	8	5	1	7
		4	6	4
				5 3

1 748 ÷ 34の筆算のしかたを考えましょう。(14点)



① 74 ÷ 34で、十の位に **2** をたてて34に2を **かけて** **68**。

74から68を **ひいて** **6**。

② 一の位の **8** をおろして **68**。

③ 68 ÷ 34で、一の位に **2** をたてて34に2を **かけて** **68**。

68から68を **ひいて** 余りは **0**。



2 次の計算を筆算でしましょう。(6点×6)

①

			23
26	59	8	
	52		
		78	
		78	
			0

 ②

			54
17	91	8	
	85		
		68	
		68	
			0

 ③

			30
24	72	0	
	72		
			0

④

			23 ...23
38	89	7	
	76		
		137	
		114	
			23

 ⑤

			36 ...11
19	69	5	
	57		
		125	
		114	
			11

 ⑥

			20 ...26
37	76	6	
	74		
		26	

3 (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。(6点×6)

(例1)

$$\begin{array}{r} 262 \\ 37 \overline{) 9694} \\ \underline{74} \\ 229 \\ \underline{222} \\ 74 \\ \underline{74} \\ 0 \end{array}$$

①

			318
23	73	14	
	69		
		41	
		23	
		184	
		184	
			0

②

			479 ...10
14	67	16	
	56		
		111	
		98	
		136	
		126	
			10

(例2)

$$\begin{array}{r} 54 \\ 28 \overline{) 1518} \\ \underline{140} \\ 118 \\ \underline{112} \\ 6 \end{array}$$

③

			38
56	21	28	
	168		
		448	
		448	
			0

④

			74 ...28
49	36	54	
	343		
		224	
		196	
			28

(例3)

$$\begin{array}{r} 23 \\ 326 \overline{) 7498} \\ \underline{652} \\ 978 \\ \underline{978} \\ 0 \end{array}$$

⑤

			25
28	57	125	
	570		
		1425	
		1425	
			0

⑥

			23 ...321
32	47	773	
	648		
		1293	
		972	
			321

4 928まいの色紙を、クラスの29人で同じ数ずつ分けたいと思います。1人に何まいずつ分ければよいですか。(14点)

(式)

$$\begin{array}{l} 298 \div 29 = 32 \\ \text{(まい)} \qquad \qquad \text{(まい)} \end{array}$$

答え〔 **32まい** 〕

			32
29	92	8	
	87		
		58	
		58	
			0

1 さとし君は、 $893 \div 26$ の計算のまちがいを説明しています。(10点)

$$\begin{array}{r} \cancel{3} \quad 4 \\ 26 \overline{)893} \\ \underline{78} \\ 113 \\ \underline{104} \\ 9 \end{array}$$

3は百の位ではなくて、十の位にたちます。



★ さとし君に習って、 $938 \div 38$ の計算のまちがいを説明してみましょう。

$$\begin{array}{r} \cancel{2} \quad 4 \\ 38 \overline{)938} \\ \underline{76} \\ 178 \\ \underline{152} \\ 26 \end{array}$$

2は百の位ではなくて、十の位にたちます。

2 商とあまりを求めて、答えのたしかめましょう。(3点×6)

① $70 \div 30 = 2 \dots 10$
 $\frac{30 \times 2 + 10 = 70}{60}$

② $600 \div 80 = 7 \dots 40$
 $\frac{80 \times 7 + 40 = 600}{560}$

③ $430 \div 50 = 8 \dots 30$
 $\frac{50 \times 8 + 30 = 430}{400}$

④ $31 \overline{)96}$
 $\frac{93}{3}$
 $31 \times 3 + 3 = 96$
 $\frac{93}{96}$

⑤ $16 \overline{)78}$
 $\frac{64}{14}$
 $16 \times 4 + 14 = 78$
 $\frac{64}{78}$

⑥ $27 \overline{)203}$
 $\frac{189}{14}$
 $27 \times 7 + 14 = 203$
 $\frac{189}{203}$

3 次の計算を筆算でしましょう。(5点×4)

①

			2
2	5	5	0
		5	0
			0

②

			6	…4
1	3	8	2	
		7	8	
			4	

③

					7
3	9	2	7	3	
		2	7	3	
					0

④

				9	…22
4	2	4	0	0	
		3	7	8	
				2	2

4 次の計算を筆算でしましょう。(5点×6)

①

			2	7
3	5	9	4	5
		7	0	
		2	4	5
		2	4	5
				0

②

			3	6
1	9	6	9	2
		5	7	
		1	2	2
		1	1	4
				8

③

			3	0
2	8	8	4	0
		8	4	
				0

④

			1	3	4
4	1	5	4	9	4
		4	1		
		1	3	9	
		1	2	3	
			1	6	4
			1	6	4
					0

⑤

			5	4	…4
6	7	3	6	2	2
		3	3	5	
			2	7	2
			2	6	8
					4

⑥

				4	0	…108
1	9	3	7	8	2	8
			7	7	2	
				1	0	8

5 クラスの37人に同じ数ずつ配るために、鉛筆を222本あずかりました。1人に何本ずつ配ればよいですか。(10点)

(式)

$222(\text{本}) \div 37 = 6(\text{本})$

$$\begin{array}{r} 6 \\ 37 \overline{)222} \\ \underline{222} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 6本 〕

6 みかんが415ことれました。55こずつ箱に入れていくと、何箱できて、何こあまりますか。(12点)

(式)

$$415(\text{こ}) \div 55(\text{こ}) = 7 \text{ 残り } 30(\text{こ})$$

$$\begin{array}{r} 7 \\ 55 \overline{)415} \\ \underline{385} \\ 30 \end{array}$$



答え〔 7箱できて30こあまる 〕

- 1 $8 \div 2$, $80 \div 20$, $800 \div 200$ の計算について考えます。□にあてはまる数やことばを書きましょう。(5点×6)

㊦ $8 \div 2 = \boxed{4}$ 

㊧ $80 \div 20 = \boxed{4}$ 

㊨ $800 \div 200 = \boxed{4}$ 

- (1) ㊦, ㊧, ㊨の計算の答えは、どれも□**4**です。
- (2) わられる数とわる数をくらべると、どちらも㊧は㊦の□**10**倍になっています。
また、㊨は㊦の□**100**倍になっています。
- (3) わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商は□**同じ**になります。
(わり算の答えは)
- (4) $8 \div 2$ の答えと、 $(8 \times 5) \div (2 \times \boxed{5})$ の答えは同じです。
- (5) $80 \div 20$ の答えと、 $(80 \div \boxed{2}) \div (20 \div 2)$ の答えは同じです。
- (6) $800 \div 200$ の計算は、 $8 \div \boxed{2}$ の計算をすればわかります。

- 2 わり算のせいしつを使って、次の計算をしましょう。(3点×6)

① $800 \div 200 = 4$ ② $1600 \div 200 = 8$ ③ $24万 \div 6万 = 4$

④ $320万 \div 40万 = 8$ ⑤ $800 \div 25 = 32$ ⑥ $700 \div 25 = 28$
4倍する $3200 \div 100$ $2800 \div 100$

- 3 $90 \div 30$ と答えが同じになるわり算を、㊦～㊨の中からすべて選び、記号で答えましょう。(10点)

㊦ $900 \div 300$ ㊧ $900 \div 30$
㊨ $180 \div 60$ ㊩ $9 \div 3$ [㊦, ㊨, ㊩]

- 4 $4500 \div 250$ の計算をします。□にあてはまる数をかきましょう。(10点×3)

- (1) 4500 と 250 のどちらにも0があるので、それぞれを10でわります。

$$4500 \div 250 = \boxed{450} \div \boxed{25} = \boxed{18} \text{ になります。}$$

$$\begin{array}{r} 4500 \div 250 \\ \downarrow 10 \text{で割る} \quad \downarrow 10 \text{で割る} \end{array}$$

- (2) わる数を1けたにします。まず、それぞれを10でわって、さらに5でわります。

$$4500 \div 250 = \boxed{450} \div \boxed{25} = \boxed{90} \div \boxed{5} = \boxed{18} \text{ になります}$$

$$\begin{array}{r} 4500 \div 250 \\ \downarrow 10 \text{で割る} \quad \downarrow 10 \text{で割る} \\ \downarrow 5 \text{で割る} \quad \downarrow 5 \text{で割る} \end{array}$$

- (3) $25 \times 4 = 100$ を使って考えます。まず、それぞれを10でわって、4をかけます。

$$4500 \div 250 = \boxed{450} \div \boxed{25} = \boxed{1800} \div \boxed{100} = \boxed{18} \text{ になります}$$

$$\begin{array}{r} 4500 \div 250 \\ \downarrow 10 \text{で割る} \quad \downarrow 10 \text{で割る} \\ \downarrow 4 \text{をかける} \quad \downarrow 4 \text{をかける} \end{array}$$

- 5 $8000 \div 250$ をくふうして計算しましょう。また、どのように考えたのかをかきましょう。(12点)

(例) 10 でわって $800 \div 25$ にして、
 4 をかけて $3200 \div 100 = 32$

1 つぎのわり算をしましょう。(2点×12)

- ① $70 \div 10 = 7$ ② $80 \div 40 = 2$ ③ $90 \div 30 = 3$
 ④ $50 \div 20 = 2 \dots 10$ ⑤ $80 \div 30 = 2 \dots 20$ ⑥ $90 \div 50 = 1 \dots 40$
 ⑦ $120 \div 30 = 4$ ⑧ $630 \div 90 = 7$ ⑨ $400 \div 80 = 5$
 ⑩ $330 \div 40 = 8 \dots 10$ ⑪ $410 \div 60 = 6 \dots 50$ ⑫ $600 \div 70 = 8 \dots 40$

2 2けたの数でわるわり算のしかたをまとめます。□にあてはまる数やことばをかきましょう。(2点×3)

$$\begin{array}{r} 21 \\ 46 \overline{) 966} \\ \underline{92} \\ 46 \\ \underline{46} \\ 0 \end{array}$$

- ① 商は□**十**の位からたちます。
 ② 十の位には、□**96** ÷ □**46**で2をたてます。
 ③ 一の位には、□**46** ÷ 46で1をたてます。

3 次の計算をしましょう。(4点×7)

① $27 \overline{) 81} = 3$ ② $35 \overline{) 70} = 2$ ③ $29 \overline{) 88} = 3 \dots 1$ ④ $14 \overline{) 97} = 6 \dots 13$

⑤ $54 \overline{) 432} = 8$ ⑥ $38 \overline{) 276} = 7 \dots 10$ ⑦ $26 \overline{) 749} = 28 \dots 21$

4 次の計算をしましょう。(5点×3)

① $33 \overline{) 8151} = 247$ ② $65 \overline{) 4779} = 73 \dots 34$ ③ $189 \overline{) 7290} = 38 \dots 108$

5 次の㉑～㉗で、上の式と下の式の商が同じものには○を、ちがうものには×をつけましょう。(3点×6)

- ㉑ $80 \div 20$ ㉒ $540 \div 90$ ㉓ $240 \div 40$
 $800 \div 200$ $5400 \div 9$ $120 \div 20$ $\div 2$
 [○] [×] [○]
 $8 \div 2$
 ㉔ $80 \div 20$ ㉕ $540 \div 90$ ㉖ $240 \div 40$
 $800 \div 20$ $5400 \div 900$ $480 \div 80$ $\div 2$
 [×] [○] [○]

6 色紙が670まいあります。この色紙を39人の生徒に同じ数ずつ配ります。1人分は何まいで、何まいあまりますか。(9点)

(式) $670_{(まい)} \div 39 = 17_{(まい)} \text{ あまり } 7_{(まい)}$

答え [1人分…17まい, 7まいあまる]

1 バスケットボールの試合で、入れた^{とくてん}得点をくらべます。

田中さん きのうの得点[5点] → 今日得点[10点]

山下さん きのうの得点[1点] → 今日得点[6点]



(5点×2)

(1) □にあてはまる数を書きましょう。

田中さんの今日の得点は、きのうよりも **5** 点多くなりました。

また、山下さんの今日の得点は、きのうよりも **5** 点多くなりました。

(2) 田中さんと山下さんでは、どちらのほうが得点のがびたといえますか。また、

その理由も書きましょう。(自由に) (10点)

「^(例)どちらも5点多くなっているのと同じです。
もとの得点の低い山下さんのほうがのびたといえます。など」

どちらも、きのうとくらべると今日の得点は5点多くなっています。

このとき、きのうの得点を**もとの得点**といいます。(もとにする量)

また、2つのものの^{りょう}量や^{かんけい}大きさの関係をくらべる時、ある量をもとにして、

その何倍になっているかでくらべることがあります。



(3) 田中さんと山下さんについて、それぞれ、もとの得点の何倍が今年の得点になっているかでくらべてみましょう。(10点×2)

(田中さん) $10 \div 5 = 2$ (倍)

(式) 答え[2 倍]

(山下さん) $6 \div 1 = 6$ (倍)

(式) 答え[6 倍]

	もとの得点	今年の得点
田中さん	5点	10点
山下さん	1点	6点

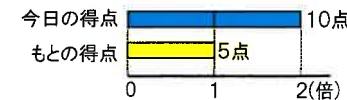
何倍かでくらべると、田中さんよりも、山下さんのほうが、得点のがびたといえます。



もとの得点の何倍が今日の得点になっているかでくらべると、田中さんは2倍、山下さんは6倍になっています。
このように何倍にあたるかを表した数を**割合**といいます。



割合
もとの得点 × 何倍にあたるか = 今日得点
5点 の 2倍 が 10点



「5点の2倍が10点」というのは、「5点を1としたとき、10点が2にあたる大きさ」といいかえることができます。

2 SサイズとMサイズとLサイズのポップコーンがあります。(10点×2)

(1) Sサイズの重さ50gの8倍がLサイズの重さです。Lサイズの重さは何gですか。

(式) $50(g) \times 8 = 400(g)$

答え(400g)



(2) Mサイズの重さの2倍がLサイズの重さ400gです。Mサイズの重さは何gですか。

(式) $\square \times 2 = 400$ より

$400(g) \div 2 = 200(g)$

答え(200g)



3 オレンジジュースが300mLあります。また、コーラはオレンジジュースの3倍あります。コーラは何mLありますか。(20点)

$300 \times 3 = \square$ より

(式) $300(mL) \times 3 = 900(mL)$

答え(900mL)

4 子ども会でサッカーを見に行きます。男の子は女の子の3倍で、15人集まりました。女の子は何人集まりましたか。(20点)

(式) $\square \times 3 = 15$ より

$15 \div 3 = 5$ (人)

答え(5人)

40	基本	何倍でしょう	何倍になるかを考えて	学習日	/
-----------	----	---------------	------------	-----	---

1 あべのハルカスの高さは300mで、博多ポートタワーの高さの3倍です。
また、博多ポートタワーの高さは、五老スカイタワーの高さの2倍です。
五老スカイタワーの高さは何mですか。 (10点×2)

(1) まず、博多ポートタワーの高さをもとめてときましょう。

(式) $300(m) \div 3 = 100(m)$... 博多ポートタワー
 $100(m) \div 2 = 50(m)$

答え〔 50 m 〕

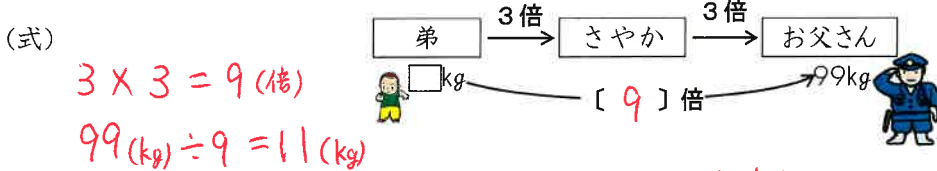


(2) あべのハルカスの高さが、五老スカイタワーの高さの何倍になるかを考えてときましょう。



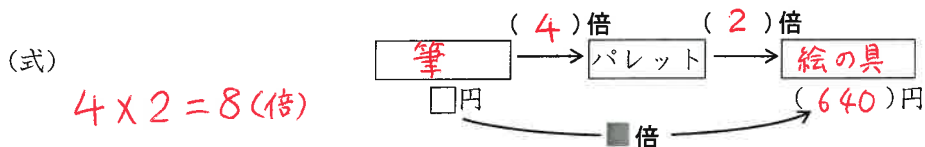
答え〔 50 m 〕

2 さやかさんのお父さんの体重は99kgで、さやかさんの体重の3倍あります。また、さやかさんの体重は、弟の体重の3倍あります。弟の体重は何kgですか。
お父さんの体重が弟の体重の何倍になるかを考えてときましょう。 (15点)



答え〔 11 kg 〕

3 絵の具とパレットと筆を買いました。絵の具は640円でパレットのねだんの2倍です。パレットのねだんは、筆のねだんの4倍です。筆のねだんは何円ですか。
図をかんせいさせてからときましょう。 (15点)

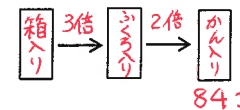


答え〔 80 円 〕

4 かん入りのアメの数は84こで、これはふくろ入りの2倍です。また、ふくろ入りのアメの数は、箱入りの3倍です。箱入りのアメの数は何こですか。 (10点×2)

(1) まず、ふくろ入りのアメの数をもとめてときましょう。

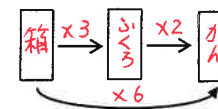
(式) $84(\text{こ}) \div 2 = 42(\text{こ})$
 $42(\text{こ}) \div 3 = 14(\text{こ})$



答え〔 14 こ 〕

(2) かん入りのアメの数が、箱入りのアメの数の何倍になるかを考えてときましょう。

(式) $3 \times 2 = 6(\text{倍})$
 $84(\text{こ}) \div 6 = 14(\text{こ})$



答え〔 14 こ 〕

5 ノート・マンガ・図かんがあります。図かんの重さは1200gで、これはマンガの5倍の重さです。また、マンガの重さはノートの2倍です。 (10点×2)

(1) 図かんはノートの何倍の重さですか。

(式) $2 \times 5 = 10(\text{倍})$



答え〔 10 倍 〕

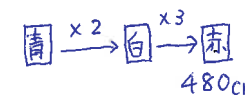
(2) ノートの重さは何gですか。

(式) $1200(g) \div 10 = 120(g)$

答え〔 120 g 〕

6 赤いひもの長さは480cmで、白いひもの長さの3倍です。白いひもの長さは、青いひもの長さの2倍です。青いひもの長さは何cmですか。 (10点)

(式) $2 \times 3 = 6(\text{倍})$
 $480(\text{cm}) \div 6 = 80(\text{cm})$



答え〔 80 cm 〕

41	基本	式と計算の順じよ	式とその計算の順じよ
-----------	----	----------	------------

1 次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1) 120円のコーヒーを買って、500円出したとき。 $500 - 120$

(2) 170円のハンバーガーを買って、500円出したとき。 $500 - 170$



これらの計算は、次のことばの式にかくことができます。

出したお金 - 代金 = おつり

2 120円のコーヒーと170円のハンバーガーを買って、500円出しました。ことばの式をもとにして、次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1) $500 - 120 - 170 = 210$
出したお金 コーヒーの代金 ハンバーガーの代金 おつり

(2) $500 - (120 + 170) = 210$
出したお金 代金 おつり



()を使った式では、()の中を先に計算します。

3 1箱に、プリンをたてに3こ、横に2こならべて入れます。プリン48こでは、箱は何こありますか。箱の数を求める計算を、ことばの式をもとにして、()を使って1つの式にかいて答えましょう。(10点)

プリンの数 ÷ 1箱のプリンの数 = 箱の数

(式) $48 \div (3 \times 2) = 8$ (8箱)
 答え〔 8こ 〕

4 1本80円の鉛筆を5本と、1こ120円の消しゴムを2こ買ったときの代金はいくらになりますか。1つの式にかいて答えを求めましょう。(10点)

(式) $80 \times 5 + 120 \times 2 = 640$
400円 240円

答え〔 640円 〕

いろいろな計算のまじっている式では、計算の順じよは次のとおりです。

- ふつう、左から順に計算します。
- ()があるときは、()の中を先に計算します。
- +, -と、×, ÷とでは、×, ÷を先に計算します。

5 特急電車の座席の横の列は、通路をはさんで、2人がけと2人がけに分かれています。60人がすわるには、何列ありますか。()を使って1つの式にかいて求めましょう。(10点)

(式) $60_{(人)} \div (2+2)_{(人)} = 15_{(列)}$



答え〔 15列 〕

6 次の問題を、()を使わない1つの式にかいて、答えを求めましょう。(10点×3)

(1) 1箱60円のキャラメルを6箱買って、500円出したときのおつり。

(式) $500_{(円)} - 60 \times 6_{(円)} = 140_{(円)}$
360円
 答え〔 140円 〕

(2) 450円の色鉛筆と、1ダースが800円のえん筆を半ダース買ったときの代金。
えんびつ 12本 6本 → 半ダースはダースの半分

(式) $450_{(円)} + 800 \div 2_{(円)} = 850_{(円)}$
 答え〔 850円 〕

(3) 1冊110円のノートと5冊と、1本140円のボールペンを2本買ったときの代金。

(式) $110 \times 5_{(円)} + 140 \times 2_{(円)} = 830_{(円)}$
550円 280円
 答え〔 830円 〕

7 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。(2点×10)

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ① $24 \div 4 \times 2 = 12$
<small>6</small> | ② $24 \div (4 \times 2) = 3$
<small>8</small> |
| ③ $17 + 3 \times 3 = 26$
<small>9</small> | ④ $(17 + 3) \times 3 = 60$
<small>20</small> |
| ⑤ $22 - 8 \div 2 = 18$
<small>4</small> | ⑥ $(22 - 8) \div 2 = 7$
<small>14</small> |
| ⑦ $4 \times 9 - 6 \div 3 = 34$
<small>36 2</small> | ⑧ $4 \times (9 - 6) \div 3 = 4$
<small>3</small> |
| ⑨ $(2 \times 10 - 8) \div 4 = 3$
<small>20</small> | ⑩ $2 \times (10 - 8 \div 4) = 16$
<small>2</small> |

1 班の買い物をしました。りえさんは1冊60円のメモ帳を5冊(5人分)、けんじ君は

1本40円のえん筆を5本(5人分)買いました。

(1) 1人分の代金をもとにして、代金を一つの式で求めましょう。

(式) $(60 + 40) \times 5 = 500$ (円)

答え〔 500円 〕

(2) メモ帳とえん筆の代金をべつべつにして、代金を一つの式で求めましょう。

(式) $60 \times 5 + 40 \times 5 = 500$ (円)

答え〔 500円 〕

(3) 2人がはらった金がかくの差を、1人分の差をもとにして、一つの式で求めましょう。

(式) $(60 - 40) \times 5 = 100$ (円)

答え〔 100円 〕

(4) メモ帳とえん筆の代金をべつべつにして、2人がはらった金がかくの差を、一つの式で求めましょう。

(式) $60 \times 5 - 40 \times 5 = 100$ (円)

答え〔 100円 〕

2 () を使った式には、次のようなきまりがあります。 (4点×2)

(1) $(\square + \circ) \times \blacktriangle = \square \times \blacktriangle + \circ \times \blacktriangle$
 (2) $(\square - \circ) \times \blacktriangle = \square \times \blacktriangle - \circ \times \blacktriangle$

《問題》 \square に7、 \circ に3、 \blacktriangle に4をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

(1) $(7+3) \times 4 = 40$ $7 \times 4 + 3 \times 4 = 40$

(2) $(7-3) \times 4 = 16$ $7 \times 4 - 3 \times 4 = 16$

3 たし算やかけ算には、次のようなきまりがあります。 (4点×4)

たし算 ㉞ $\square + \circ = \circ + \square$ ㉟ $(\square + \circ) + \blacktriangle = \square + (\circ + \blacktriangle)$
 かけ算 ㊸ $\square \times \circ = \circ \times \square$ ㊹ $(\square \times \circ) \times \blacktriangle = \square \times (\circ \times \blacktriangle)$

2 にならって、 \square に5、 \circ に4、 \blacktriangle に3をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

㉞ $5+4=9$ $4+5=9$
 ㉟ $(5+4)+3=12$ $5+(4+3)=12$
 ㊸ $5 \times 4 = 20$ $4 \times 5 = 20$
 ㊹ $(5 \times 4) \times 3 = 60$ $5 \times (4 \times 3) = 60$

4 計算のきまりを使って、くふうして計算します。□にあてはまる数をかきましよう。(5点×4)

(1) $92+8=100$ であることを使いましよう。 (2) $25 \times 4=100$ であることを使いましよう。
 $64+92+8=64+(\square+\square)$ $25 \times 36=25 \times (\square \times 9)$
 $=64+\square$ $=(\square \times \square) \times 9$
 $=\square$ $=\square \times 9$
 $=\square$ $=\square$

(3) $101=100+1$ であることを使いましよう。 (4) $99=100-1$ であることを使いましよう。
 $101 \times 38=(100+1) \times 38$ $99 \times 75=(100-1) \times 75$
 $=\square \times 38 + \square \times 38$ $=\square \times 75 - \square \times 75$
 $=\square + \square$ $=\square - \square$
 $=\square$ $=\square$

5 くふうして、次の計算をしましよう。(2点×8)

① $72+6+94=172$ ② $47+98+53=198$
 $\quad \quad \quad 72+100$ $\quad \quad \quad 100+98$
 ③ $25 \times 16 = 400$ ④ $28 \times 25 = 700$
 $\quad \quad \quad \frac{25 \times 4 \times 4}{100}$ $\quad \quad \quad \frac{25 \times 4 \times 7}{100}$
 ⑤ $50 \times 44 = 2200$ ⑥ $98 \times 6 = 588$
 $\quad \quad \quad \frac{50 \times 2 \times 22}{100}$ $\quad \quad \quad \frac{100 \times 6 - 2 \times 6}{600 \quad 12}$
 ⑦ $102 \times 35 = 3570$ ⑧ $999 \times 9 = 8991$
 $\quad \quad \quad \frac{100 \times 35 + 2 \times 35}{3500 \quad 70}$ $\quad \quad \quad \frac{1000 \times 9 - 1 \times 9}{9000 \quad 9}$

- 1 ^{たば} 1束の本数が同じ赤い花の束を5つついたら、全部で30本いりました。1束の花の数は何本でしたか。1束の花の数を□本として式にかき、□の求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [$\square \times 5 = 30$]

(□の求め方) $30 \div 5 = 6$ (本)

答え [6本]

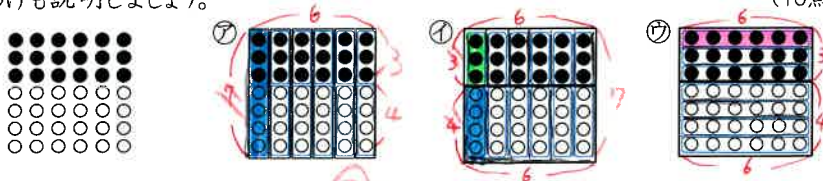
- 2 1束の黄色い花を同じ数ずつ5人に分けたら、1人分が4本になりました。1束の花の数を□本として式にかき、□の求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [$\square \div 5 = 4$]

(□の求め方) $4 \times 5 = 20$ (本)

答え [20本]

- 3 左の図の黒石と白石を合わせた数を、いろいろな考え方で求めました。次の(1)~(3)の式は、㉠・㉡・㉢のどの図で考えたものですか。また、そう考えたわけも説明しましょう。(10点×3)



- (1) $3 \times 6 + 4 \times 6$ [㉠]

$3 \times 6 + 4 \times 6$ は、3の6に分と、4の6に分を合わせているので、[㉠]の図で考えたものです。

- (2) $(3+4) \times 6$ [㉡]

$(3+4) \times 6$ は、3と4を合わせたものが6つ分なので、㉡の図で考えたものです。

- (3) $6 \times 3 + 6 \times 4$ [㉢]

$6 \times 3 + 6 \times 4$ は、6の3に分と6の4に分を合わせているので、㉢の図で考えたものです。

- 4 次の問題を□を使った式に表して、□にあてはまる数をもとめましょう。(8点×4)

- (1) 子どもが□人 遊んでいます。そこへ8人きたので13人になりました。

(式) [$\square + 8 = 13$]

(□の求め方) $13 - 8 = 5$

答え [5人]

- (2) 子どもが□人 遊んでいます。そのうち3人帰ったので15人になりました。

(式) [$\square - 3 = 15$]

(□の求め方) $15 + 3 = 18$

答え [18人]

- (3) 同じねだんのあめを7こ買ったら70円でした。

(式) [$\square \times 7 = 70$]

(□の求め方) $70 \div 7 = 10$

答え [10円]

- (4) 買ってきた色紙を同じ数ずつ8人に分けたら、1人分が5まいになりました。

(式) [$\square \div 8 = 5$]

(□の求め方) $5 \times 8 = 40$

答え [40まい]

- 5 ^{だんご} 団子を3本ずつ入れたパックが2パックあります。

くし1本には団子が3こずつささっています。

次の2つの式は、どのように考えて団子の数を求めたのか、説明しましょう。(9点×2)



- ① $(3 \times 3) \times 2$

$(3 \times 3) \times 2$ は、1パックの団子の数を先に求めて、次に2パック分の団子の数を求めました。

- ② $3 \times (3 \times 2)$

$3 \times (3 \times 2)$ は、くしの数を先に求めて、次に全部の団子の数を求めました。

1 160円のノート^{さつ}を1冊と、140円のボールペンを1本買って、500円出しました。
(5点×2)

① おつりを求めることばの式をかきましょう。

$$\boxed{\text{出したお金}} - \boxed{\text{代金}} = \boxed{\text{おつり}}$$

② おつりを求める計算を、①のことばの式をもとにして、()を使って1つの式にかきましょう。

$$\text{(式)} \quad 500 - (160 + 140) = 200$$

2 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。
(3点×6)

$$\text{①} \quad 8 + 4 \times 6 = 32$$

$$\text{②} \quad 36 - 16 \div 4 = 32$$

$$\text{③} \quad 27 \div 3 + 3 \times 6 = 27$$

$$\text{④} \quad 56 \div 7 - 2 \times 3 = 2$$

$$\text{⑤} \quad (13 - 15 \div 5) \times 7 = 70$$

$$\text{⑥} \quad (8 + 32 \div 4) \times 2 = 32$$

3 にあてはまる数をかきましょう。
(3点×4)

$$\text{①} \quad 9 \times 7 = \boxed{7} \times 9$$

$$\text{②} \quad (8 \times 5) \times 2 = 8 \times (\boxed{5} \times \boxed{2})$$

$$\text{③} \quad 16 \times 3 + 4 \times 3 = (16 + 4) \times \boxed{3}$$

$$\text{④} \quad 27 \times 5 - 7 \times 5 = (27 - 7) \times \boxed{5}$$

4 にあてはまる数をかきましょう。
(5点×2)

$$\begin{aligned} \text{①} \quad 25 \times 16 &= 25 \times (\boxed{4} \times 4) \\ &= (25 \times \boxed{4}) \times 4 \\ &= (\boxed{100}) \times 4 \\ &= \boxed{400} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{②} \quad 99 \times 56 &= (\boxed{100} - 1) \times 56 \\ &= \boxed{100} \times 56 - 1 \times 56 \\ &= \boxed{5600} - 56 \\ &= \boxed{5544} \end{aligned}$$

5 くふうして、次の計算をしましょう。
(3点×4)

$$\text{①} \quad 64 + 72 + 28 = 64 + 100 = 164$$

$$\text{②} \quad 35 + 49 + 65 = 49 + 100 = 149$$

$$\text{③} \quad 25 \times 24 = 25 \times 4 \times 6 = 100 \times 6 = 600$$

$$\text{④} \quad 99 \times 81 = (100 - 1) \times 81 = 8100 - 81 = 8019$$

6 の数は、どんな計算で求められますか。(式と答えをかきましょう) (4点×4)

$$\text{①} \quad \boxed{} + 32 = 61$$

$$\left[61 - 32 = 29 \right]$$

$$\text{②} \quad \boxed{} - 27 = 56$$

$$\left[56 + 27 = 83 \right]$$

$27 + 56 = 83$

$$\text{③} \quad \boxed{} \times 9 = 72$$

$$\left[72 \div 9 = 8 \right]$$

$$\text{④} \quad \boxed{} \div 4 = 12$$

$$\left[12 \times 4 = 48 \right]$$

$4 \times 12 = 48$

7 350円の大根と300円のきゅうりを買ひ、1000円出すと、おつりは何円ですか。1つの式にかいて、答えを求めましょう。
(10点)

$$\text{(式)} \quad 1000 - (350 + 300) = 350$$

$$\text{または} \quad [1000 - 350 - 300 = 350]$$

答え [350円]

8 右の図の○の数を、次のようにして求めました。

$$\text{⑦} \quad 5 \times 3 + 3 \times 4 \quad \text{⑧} \quad 5 \times 7 - 2 \times 4$$

それぞれどのように考えたのかを説明しましょう。

(6点×2)

⑦ $5 \times 3 + 3 \times 4$ は、5の3二分と3の4二分を合わせて求めました。

⑧ $5 \times 7 - 2 \times 4$ は、5の7二分から2の4二分を引いて求めました。

